

『認知症と自動車運転』講演会

認知症と自動車運転について考える講演会を開催します。ゲーム感覚でできる反射神経測定も行いますので、どなたもお気軽にお申込みください。

- 日時 平成29年10月28日(土) 午後1時30分～3時30分
- 場所 向日市福祉会館3階大会議室
- 内容 ●講演「テーマ：認知症と自動車運転」
講師：才村泰生医師(認知症疾患医療センター長〔西山病院])
●改正道路交通法と免許証自主返納について
講師：向日町警察署 交通課
●反射神経測定

※定員(50名)になり次第終了
【申込み】向日市社会福祉協議会
TEL.932-1990

地域サポーター養成講座のご案内

地域の要支援・要介護の高齢者宅でお話し相手等を行う地域サポーターに登録して、無理なく、楽しみながらできるボランティア活動に参加してみませんか？

- 日時および内容
- 11月20日(月) 超高齢化社会に向けての地域づくり
 - 11月27日(月) 講演「楽しもう！地域でのボランティア活動」(仮題)
 - 12月4日(月) 地域サポーター活動について
- ※時間は各日とも午後1時30分～4時
場 所 向日市福祉会館(3階)大会議室
定 員 35名(先着順)
受講料 無料

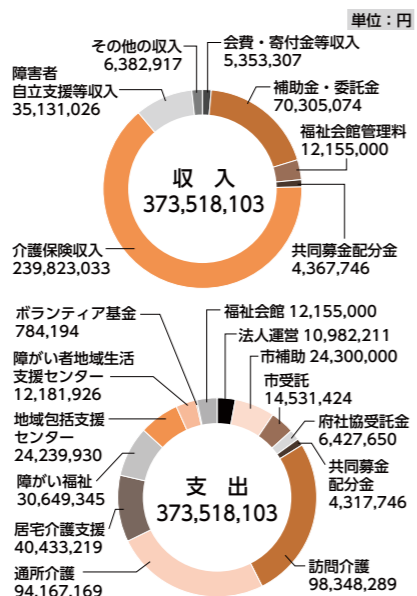
【お問い合わせ】地域福祉課
TEL.932-1961

介護スタッフを募集します！
充実した新人研修で安心のスタート！

- 仕事 要介護高齢者の入浴・食事・排泄等の介助、送迎車添乗、食事準備、レクリエーションの企画・進行、記録、等)
- 時間 午前8時30分～午後6時15分の間で本会が指定する時間
午後以降勤務歓迎
- 資格 無資格、未経験OK
◎資格取得支援制度あり
- 時給 1,000円～
- 応募 まずはお気軽にお電話ください。見学のみも大歓迎です。

【お問い合わせ】デイサービスセンター
TEL.931-3294

平成28年度
向日市社会福祉協議会 決算報告



生活福祉資金貸付の相談窓口

生活福祉資金とは、京都府社会福祉協議会が、低所得世帯・障がい者世帯・高齢者世帯を対象に世帯の自立を促進するため低利または無利子で貸付を行う制度です。向日市社会福祉協議会では、その相談や手続きを行っています。

- 【教育支援資金】
高校、大学等で修学するために必要な経費(授業料・入学金など)
- 【福祉資金】
一時的に必要な経費(療養費、介護費、転宅費、冠婚葬祭費など)
- 【総合支援資金】
失業等によってお困りのとき(生活支援

費・住宅入居費・一時生活再建費)
※資金の種類により申込条件が異なりますので、まずはお気軽にお電話ください。

【お問い合わせ】地域福祉課
TEL.932-1961

ホームヘルパーはじめませんか？
未経験から勤務している人が95%の職場です！

- 仕事：掃除、洗濯、調理、買物や食事、排泄、入浴等の介助
 - 資格要件：介護職員初任者研修修了者(旧ホームヘルパー2級)・介護福祉士
 - ※無資格の方はご相談ください。(資格取得助成制度有)
 - 勤務場所：向日市
 - 勤務時間：午前7時～午後10時で勤務可能な時間帯
 - ※子育てや介護中の人も活躍中
 - 時間給：1,500円～1,950円(介護職員処遇改善加算含)
 - ※勤務時間帯、曜日、経験年数により異なる。
 - ※各種諸手当あり
 - ※まずはお気軽にお電話ください。
 - ※その他：有給取得率80%、職場満足度88%(H29.2ヘルパー向けアンケートより)、離職者H28年度1名
- 【お問い合わせ】ホームヘルプセンター
TEL.932-1968

善意のご寄付
ありがとうございました

(平成29年5月23日～平成29年8月29日)
アンダーツリー株式会社様から車両1台を寄贈していただきました。また、がんばクラブ様から寄付金をいただきました。

社協まつり11/5@で使えるお得なクーポンを配布しております。

LINE@ はじめました。

向日市社会福祉協議会では、コミュニケーションアプリ「LINE@」で、皆様のお役に立つ情報や楽しい企画などを配信しています。LINEアプリを起動して「公式アカウント」画面から、「向日市社会福祉協議会」で検索して登録していただけます。友だち登録をお待ちしています。

友だち登録方法 / 次のいずれかの方法で、かんたんに友だち登録ができます。

その1 QRコードから

LINEアプリを起動して「友だち追加」画面から、「QRコード」を選択。以下のQRコードを読み込んで登録いただけます。



その2 友だち検索から

LINEアプリを起動して「公式アカウント」画面から、「向日市社会福祉協議会」で検索して登録していただけます。



福祉パレット

ご近所福祉のまち 向日市をめざして

特殊詐欺に注意！ 警察と社協が啓発活動

向日町署生活安全課の署員と向日市社協職員が市民さんの自宅を訪問し、オレオレ詐欺や還付金詐欺など消費者被害の未然防止を促しました。向日町署管内でも巧妙な手口による特殊詐欺が多発しています。向日町署では、「わかっていたのに騙された、という声も多い。できれば電話は留守電にし、少しでも気になる点があったらすぐに警察に電話してください」と注意を呼びかけています。向日町警察署 TEL.921-0110



福祉パレット 10月号 平成29年10月発行 編集・発行/社会福祉法人向日市社会福祉協議会 〒617-0002 京都府向日市寺戸町西野辺1-7 ●TEL.075-932-1960 FAX.075-933-4425
●URL: http://muko-shakyo.or.jp/ ●E-mail: info@muko-shakyo.or.jp ●広報誌「福祉パレット」は赤い羽根共同募金の配分金を財源として年3回(3月・7月・10月)発行しています。

ボランティア団体の取り組み
向日市さくらきっちゃん



代表
桃井 友美さん

高校の同級生で子育て中の3人が協力して、子ども食堂を開いています。シングルのママ・パパや多忙な保護者が少しでも子どもたちと向き合える時間が作ればとの思いで月に2回不定期で開催。今年の夏休みには、大人も子どももワクワクする流しそうめんや、職人さんによる手打ち蕎麦のイベントを実施。夜の開催では、晩御飯を提供しています。「週の内、たった1回でも食事の用意をしなくて済めば、気持ちが楽になる」と自らの経験を語る坂さん。実際にその1回を「さくらきっちゃん」で過ごした参加者からは「リフレッシュできた」と好評で、リピーターになる方



が多いと言います。身体に優しい調味料や食材にこだわった“食育をテーマとしたご飯”も人気で、ここで野菜嫌いを克服した子どももいるとか。運営協力費として、子ども10円(中3まで)・大人100円。活動に共感した企業の支援や寄付などで実現しています。代表の桃井さんは「子どもも大人も安心して過ごせる場所として、地域に定着させていきたい」と話しています。



坂 早苗さん



母子会の取り組み
向日市三つ和母子会
kid's houseひまわり



代表
堀 秀子さん

「見て、お兄ちゃん！ こんな大きな虫がいたで」と、子どもたちの元気な声が響く母子会主催の子ども食堂。「お兄ちゃん」たちの正体は、教職を目指す大学生ボランティア。子どもたちの良き遊び相手・相談相手として支援に協力しています。ひとり親家庭が対象で、毎月第1・3水曜の午後5時からスタート。子どもたちがボランティアと過ごしている間に、調理師免許を持ったスタッフが手際よく食事を用意。バラエティに富んだ献立が並び食卓をみんなで囲むアットホームな雰囲気が好評を博しています。「お兄さんやお姉さんが勉強を見てくれ、また子どもが悪いことをしたら周りの大人が怒ってくれる。人との関わりを大切にできる環境があるのが、ここの特徴」と代表の堀さん。一度参加すると、子どもたちの方から「また行きたい!」とリクエストが上がり、「親としても助かっている」という声が多いといいます。「参加者自身で作っていく場所だと思っています。無理せず楽しみながら、一緒に過ごして行ければ」と、堀さんは語ります。



みんなで🍲食べよう!
地域で広がる 子ども食堂

核家族化や地域のつながりが希薄化していると言われる昨今。また、共働き家庭やひとり親家庭の増加に伴い、放課後を一人で過ごす子どもも増えています。そんななか、「食」を通して子どもと大人、また地域の交流を図る場として「子ども食堂」が注目されています。子どもの孤食解消、保護者の支援を目指して活動する、向日市の3つの団体を紹介し、それぞれの特徴ある取り組みに触れ、地域の居場所づくりについて考えるきっかけにしてください。



社会福祉法人の地域貢献
わっかプロジェクト



京都府社会福祉協議会
事務局次長
神戸 望さん

豊かな地域社会の創造を目指し、京都府社会福祉協議会が各社会福祉法人や団体と協働して立ち上げた事業「わっかプロジェクト」。向日市では、同プロジェクトに参画している「向陽福祉会」、そして他の社会福祉法人(「向陽会」「物集女福祉会」「向日春秋会」「洛西永正福祉会」とも協力して、子ども支援の取り組みを始めました。今年4月、地域の教育機関などにニーズの聞き取りを実施したところ、コミュニケーションと文化も学べる場に、という教育現場の要望を把握。



子ども食堂に「リトミック」といった小・中学生の文化力を高める企画もセットで行うことに決め、7月22日に1回目を開催しました。市内の5法人が互いに協力する形の取り組みは初の試みで、今後は評価を経て、秋ごろに第2回目の開催を目指しています。「今後は、ものづくりや高齢者、障がいを持つ方との交流など、次の取り組みにつなげていきたい」と、向陽苑の高桑さん。社会福祉法人の特徴を活かした継続的な支援展開に期待が寄せられます。



社会福祉法人向陽福祉会
向陽苑 施設長
高桑 勝さん

「フレイル予防」で
健康長寿を目指そう!

シニア世代の健康づくりに注目が集まるなか、「フレイル」という言葉を耳にしたことはありませんか? 加齢に伴い、「やる気が出ない」「歩くのが遅くなった」といった心身の活力の低下が生まれます。この健全な状態から介護が必要になるまでの中間の段階を「フレイル」と呼びます。しかし、このフレイルは初期や軽度の場合は、ほんの少しの生活習慣の改善で進行を遅らせたり、健全な状態に戻すことができるのです。今回は、家でできるフレイル予防体操をご紹介します。一人でもできる簡単な体操ですが、無理をせず、継続することを心掛けましょう。

① 足ぶみ



まずは深呼吸しましょう。壁に手をつき、膝を90度まで持ち上げ、足ぶみを30回行います。勢いはつけないこと。きつければ、椅子に座ってやってもOKです。これを1日1~2回、行いましょう。余裕のある方は、片足を軸にもう片方の足を横にスイングします。さらに、後ろに引き上げる体操も効果的です。どちらも膝をまっすぐにすることが大事。左右とも10回ずつが目安です。

② 立ち座り



椅子に座り、何も持たずに4秒かけて立ち上がります。次に、4秒かけて椅子に座ります。呼吸を整えながら行いましょう。目標は5往復です。不安のある方は、手を壁について行ってください。

健康体操は社協のデイサービスセンターでも実施しています。自分の身体と向き合い、健康状態をチェックしましょう。